

# 地名を歩く

五十二 頼久寺町



頼久寺町の町通り、後ろの山は臥牛山

今回は、高梁市「頼久寺町」です。「頼久寺町」はJR伯備線に沿う町で東は伊賀町、西は中之町、南は紺屋川を隔てて、向町や寺町が、北には美濃部坂から御前町・石火矢町があります。

「頼久寺町」は江戸時代は、「頼久寺丁」と書かれ池田氏の頃(元和三年11617〜寛永一八年11641)にはすでに松山城下の家中屋敷町の一つでした。

頼久寺は歴史のある寺院で、草創当時には、天忠寺、または大林寺と号していたと伝えられ、荒廃していたのを足利尊氏と義弟の直義が後醍醐天皇らの冥福を祈るため暦応元年(1338)頃から国ごとに一寺一塔の建立を進め、寺を安国寺と称し南北朝の頃(1333)に全国につくらせました。その時の備中国安国寺だったともいわれています。その後、松山城主上野備前守頼久が永正年中(1504〜1521)に伽藍を再興して寺領を与え、寺号の天忠から山号を天柱山とし、子の頼氏が父の名を寺名に加えて、安国頼久寺としたと伝えられています。その後、天正三年(1575)の備中兵乱のとき戦火で伽藍や什物を焼失しましたが、乱の後に毛利輝元の命に

よって天野元明・同元信が復興しました。慶長五年(1600)関ヶ原の戦いの後、奉行として小堀正次(新助)、政一(作助)父子が松山に來ましたが、兵の乱後で松山城が荒廃して使用できなくなったため、政務のための居館として頼久寺で執務をしています。

頼久寺丁は、池田氏の頃には上級武士の屋敷町でしたが水谷氏の頃には中堅家臣の家中屋敷となっていたらしく、「水谷史」(「御家内之記」)によると、元禄(1688〜1704)の初めには「長さ一丁二十八間、家数八軒、寺一ヶ所」とあり、百石が二軒、五百石一軒、百五十石二軒、三百五十石一軒、四百石一軒の武士があげられています。また、延享元年(1744)には六(増補版高梁市史)、幕末の嘉永二・三年(1849〜50)頃(増補版高梁市史)、幕末の嘉永二・三年(1849〜50)頃から安政初年(1854)頃には、家中屋敷六軒(昔夢一班)・「前掲書」となっています。町は、幕末の天保三年(1832)と一〇年(1839)の大火で全焼し、一〇年の大火では頼久寺の伽藍も全焼しています。

町名になっている頼久寺は、臨濟宗永源寺派、山号は天柱山、

本尊は聖観音、開山は永源寺派の祖・寂室元光、そして元光の高弟の靈仲禅英の開基と伝えられています。小堀遠州作庭と伝えられる禅院式枯山水蓬萊庭園は愛宕山を借景として、サツキの刈り込みや三尊の石組を配置した鶴島、亀島、背後にサツキの大刈込みを配して大海原を表現するという、まさに禅院にふさわしい枯淡幽玄の境地の美を表す名庭で知られています。

本堂裏には、宇喜多よって暗殺された三村家親と備中兵乱で自害した子の元親の墓碑があります。また、寺宝には国指定重文となっている鎌倉時代の貞治三年(1366)に描かれた絹本着色釈迦三尊像があります。

ほかに明治二九年(1896)県下最初の女学校、私立順正女学校(のち高等女学校)の校舎として建てられた県指定史跡の順正寮跡があります。

幕末頃の絵図(松山城下絵図)によると頼久寺山門の下は竹藪だったらしく、大正末期になって伯備線敷設のため、家屋が移転し、昭和になると竹藪もなくなり「頼久寺町」は様変わりして伯備線沿いの町となったのです。(文・松前俊洋さん)

# 図書館だより 3月

## 高梁中央図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 2912



### 一般書 読むので思う

荒川洋治:著  
幻戯書房

本を読むと、何かを思う。読まないと、思いはない。思いの種類が少ない人になり、そのままに。そのままはこまるので、ぼくも読むことにした。2007年6月以降、ほぼ1年間に発表したエッセイから66編を収録。

### 児童書 WALL・E ウォーリー

アイリーン・トリンプル:作  
しゅやまさこ:訳  
偕成社

700年間、ひとりぼっちで地球のごみをかたづけてきたロボットの“ウォーリー”が、地球と宇宙を股にかけて繰り広げる感動の冒険ファンタジー。



休館日 毎週木曜日の午後  
2日(月), 9日(月), 15日(日), 20日(金), 23日(月), 30日(月)

### ちいさいこへのや 図書館2階 14:30から

小学校低学年までが対象で参加無料。  
親子での参加も歓迎です。

|        |   |
|--------|---|
| 7日(土)  | きりがみあそび「ジャンピングボール」                              |
| 14日(土) | ビデオ「おやゆびひめ」<br>おはなし会<br>(ボランティアグループ『おはなしたまてばこ』) |
| 21日(土) | おりがみあそび「恐竜」                                     |
| 28日(土) | かみしばい「どっちだ?」                                    |

### 移動図書館

|        |   |
|--------|---|
| 13日(金) | 有漢生涯学習センター前 14:45 ~ 15:30<br>落合雇用促進住宅高梁宿舍前 16:20 ~ 16:50  |
| 17日(火) | 玉川地域市民センター前 11:00 ~ 11:30<br>落合地域市民センター前 13:00 ~ 14:00<br>中国電力社宅前 14:30 ~ 15:00<br>松原地域市民センター前 15:30 ~ 16:00  |
| 19日(木) | 川上児童館前 14:15 ~ 15:15<br>備中地域局前 15:45 ~ 16:45  |
| 24日(火) | 津川地域市民センター前 11:00 ~ 11:30<br>高倉地域市民センター前 13:00 ~ 13:30<br>川面地域市民センター前 14:00 ~ 14:30                           |
| 27日(金) | 巨瀬地域市民センター前 10:30 ~ 11:00<br>中井地域市民センター前 13:00 ~ 13:30<br>宇治地域市民センター前 14:30 ~ 15:00<br>落合中二公会堂前 16:00 ~ 16:30 |

## 成羽図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 2589



### 一般書 参謀力~直江兼続の知略

童門冬二:著  
日本放送出版協会

トップとしての上杉景勝と、参謀の本分を心得ていた直江兼続とが、直面した多くの危機をどのように突破していったかに主眼を置き、その解決法を「直江兼続の参謀力」として描く。現代組織経営への示唆に富む一冊。

休館日 毎週月曜日

### 移動図書館「うぐいす号」

10日(火), 17日(火)

|                     |  |
|---------------------|--|
| 午前<br>9:00 ~ 12:00  | 市営星原住宅→ファミリーハウス星原→鶴鳴保育園→市営栄町住宅→雇用促進住宅→黒川商店(日名地区)→枝中央地区→成美保育園 |
| 午後<br>13:00 ~ 16:00 | 老人ホーム成羽川荘→成羽・山本地区→小泉・東地区→布寄小学校→中野・迫地区→吹屋小学校→向井商店(坂本地区)→田原保育園 |